

THE 1983 4 KOBECOCO

APRIL No. 264

月刊神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可
昭和58年4月1日印刷 通巻264号
昭和58年4月1日発行 毎月1回1日発行



LADIES SHOW
Beniya

'83 BENIYA BRILLIANT MODE

こころの色、あざやかに。

こころに不変の色があるのなら、
思いきって強調するのも
品性のファッションな主張です。
たとえば黒と白のアンサンブル、
こころの色が深みをましてあざやかに、
あなたの品性をきわだてます。
《ベニヤ》スプリング・コレクション、
セクシャル・エレガンス・シリーズ——
咲き誇る花の季節へ、
隠されたあなたのこころの色の
挑戦です。



BENIYA

KOBE・OSAKA・TOKYO

本店／神戸市中央区三宮センター1丁目 ニューセンター1F・2F ☎332-2135

世界で一番小さな海

真珠



 田崎真珠



大正中期のデザインで
当時としては、かなり新しい装飾表現。
現代感覚にも見劣りのないシャープさは、
その頃のミキモトの
備えてたデザイン力を物語っている。
小粒の真珠は、「サテンメ」といわれる
独自の技術でセット
されています。

憧れは、祖母の時代から変わりません。
ミキモトは、確かさの美しい証し。

おかげさまで90周年。

Best Pearl & Best Jewelry.

ミキモトは、時を超え、国境を超えて、
宝石との美しい対話を広げてまいりました。

そして今、真珠発明90周年。

宝石の伝統美を守り、
さらに未知の美を探りつけます。
この素晴らしい世界を次代へ。

MIKIMOTO

神戸＝神戸国際会館 TEL(078)221-0062 大阪＝梅田・新阪急ビル1階 TEL(06)341-0247 京都＝河原町・BALビル4階 TEL(075)241-2970 ©1983-4

スケッチブックから〈52〉 ● ヨーロッパを描く 車「ドウ・シュヴォ(2CV)」を描く



絵・西村 功

4月2日
OPEN!

国鉄神戸駅前に

都市型セミナーホテル 登場

大小会議室15室 700名収容

会議、セミナー、パーティ、展示会などにもご利用できます。

客室290室 328名収容



バブ&レストラン

ジョーラク

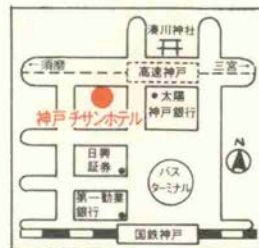
同時に開店



神戸チサンホテル

〒650 神戸市中央区中町通2丁目3番1号

TEL(078)341-8111





宝石・真珠

株式 大月真珠
会社

神戸市中央区三宮町1-2-1(三神ビル)
Tel. (078)391-4931~3
東京都中央区銀座5-9-1(銀座幸ビル)
Tel. (03)571-7443・0761

駆けてゆく春のジュエリー



Tajima
宝飾店 タジマ

元町 2 丁目 TEL 331-5761 代表

天真爛漫 若きでジャンプ！

よう 燐

あき 明

(宝塚歌劇団星組)カメラ・山村雅彦

音楽学校時代、「トリスタンとイゾルデ」を脚色した文化祭公演「黄金色の髪のイズ」を学友達と成功させ、舞台ではトリスタン役を演じた。

「あの時は無我夢中でした」と、爽やかに話す。北野町異人館通り生まれの神戸っ子。4歳のときからダンスを習い始め、踊ることが何よりも好きだった。宝塚ファンだった母の影響を受けて、ものごころがついた頃にはタカラヅカをめざしていた。

3年前、高競争率で知られる入学試験の難関をみごと突破。通学の途中、電車の中でウォークマンを聞きながら音楽の勉強をする現代っ子だ。

「練習の暇を少しでも見つけたら、必ず映画やお芝居を観に足を運びます。今の私にとって、読書もテレビもすべてが興味の対象です」 弾ずむようなバネと若さに溢れた言葉がテキパキと返ってくる。

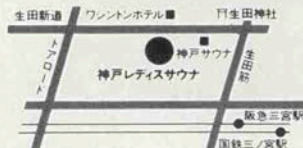
(宝塚にて)



サウナとエステティック
神戸レディスサウナ

神戸三宮・生田新道ワシントンホテル向かい
TEL.078-321-4742・4741

営業時間／朝10時～夜3時・年中無休



女がたのボディ...だね。

12周年記念

チャリティ「100yen」サウナ

4月20日(水)

朝10時～夜1時 (受付は12時まで)

春がきました。

神戸レディスサウナは、ことして12年。

感謝の気持ちをこめて、

1700円のサウナコースを100円に—。

ボディまるごと、リフレッシュ・チャンス!

サンクス

★感謝、プレゼント

ペアサウナ・チケット(ペアでお越しになると、それぞれ半額割引)をもれなく。
さらに抽せんで、フィットネス・グッズもプレゼント!

みなさんの100yenは福祉施設に。ご協力ください!

神戸洋服の面目躍如

——横山忠世

（ヨコヤマ洋服店
デザイナー協会々員）

カメラ・米田定蔵

薄いグレーのタックスードで作られた二つ掛けダブルの上着は、ハンドステッチ入りのピークラベル、ノーベンツ。写真の作品が第二回一級技能士全国技能競技大会（技能グランプリ）で、見事優勝し労働大臣賞を授賞した横山忠世氏の会心の作だ。洋服の部には全国から一級の熟練者二十名が参加した。現在、兵庫県技能士会で会長を務める横山さんは、デザイナー協会の会員でもあり、十七歳から三十年余り技術を磨いてきた。「もし、失敗したらどうしよう」とプレッシャーがかかりました。一位になってホッとしています。ただ残念なのは、私を職人としてここまで育ててくれ、一番喜んでくれるはずの叔父が、ちょうど発表の時に亡くなったことです。何か因縁を感じています」

審査員の前で規定の同素材、同じデザインを十二時間で縫いあげる。横山さんには裏地を忘れてくるというハプニングもあったが、時間内に余裕を持って、殊に襟と袖は丹念に仕上げた。プレタポルテが普及して、注文服が減っているだけに、本当に技術を持たないと残れなくなります。講習会やパーティーにもどんどん参加して勉強してほしい。紳士服発祥の地に明るい話題だ。「洋服も男の顔」という横山さんの趣味はカラオケ。十八番は河内音頭（灘区在住）



●地下B1Fオープン

春・夏物入荷中—私のファッションはこれ!



collections'Y IGUREGU Sissy BOY TRAFFIC-NEWS
 (1F) VIVA YOU tricot
 (B1F) Pinky&Dianne COMME des GARÇONS sÚT/esO

HENCE FORTH



HENCE FORTH CO., LTD./3-6-20, Sannomiya-cho, Chuo-ku, Kobe Tel. (078) 331-1616



ある集い 神戸家具青年部会

ヤングパワーで 神戸家具を普及

神戸家具はヨーロッパの技術と伝統を受け継いだ手造りの良さを持つ地場産業のひとつだ。

その振興と業界の中での親睦をはかり、若手が頑張ろうと二十年前、永田良一郎氏の肝入りで各家具組合から二世が集まった青年部会が結成された。現在七代目の藤井光造会長以下二十一名が活動している。昭和五十四年八月に催された「ゴウベ・ファッション・フェア」に神戸家具フェアに続いて今年二月「神戸家具フェア」を十六日間催し、入場者も多く反響を呼んだ。今後は各年毎に催事を持ち、優れた神戸家具を若い人々にもアピールしたいそうだ。「家具職人には頑固な人が多く、なかなか自分のスタイルを崩そうとはしません。我々の仲間にも職人はいますが、若いので力を出し合い、神戸家具のスタイルをつくると、もっと全国的に普及するのでは……なんて話しています」と藤井会長。

神戸家具フェアのアンケートでも洋家具の発祥地が神戸だとは意外と知られていなかった。

永田社長も「青年部会は僕らの時代よりよっぽど頑張っている。頼もしい限りだね」と微笑む。かつて船大工が外国人たちによって持ち込まれた洋家具を真似て作ったことに始まる神戸家具の歴史も悠に百年を越えた。

（合わせて35頁もお読みください）



Beautiful eye
わたしとメガネ

顔に似合って
スマートに

大月 尋 男

〈株式会社 大月真珠社長〉

メガネは顔の一部だから
何よりも似合って
いるものがいいし
スマートにかけたい
ですね。

ファッション都市KOBÉ
といわれているのだから
男のおしゃれにメガネで
イメージチェンジも悪く
ありませんね。

服部メガネ

神戸・大丸前 ☎(078)331-1123

区民待望の生田文化会館



生田文化会館



祝辞をのべる宮崎辰雄市長

ブロンズ彫刻「DONNA」の除幕式



一区一文化会館の夢実現 生田文化会館竣工式

●コウベスナップ

街角に音楽を一30周年記念演奏会 神戸市消防音楽隊

神戸市立生田文化会館（磯村博司館長）が2月22日にオープン。17日、同館大ホールで竣工式が行われた。地下1階、地上3階、延床面積約3300㎡。区民代表の竹馬準之助氏（竹馬産業・社長）は「旧生田区民の要望がほぼ100%実現。ここを拠点に市民文化の新しい伝統を築き上げたい」と喜びを語った。

東京消防庁に続き、全国で2番目の歴史をもつ神戸市消防音楽隊（服部功隊長）が、創立30周年を迎え、2月5日神戸文化大ホールで記念演奏会を開催。同音楽隊の特別講師、辻井市太郎氏、作曲家の岩井直博氏、プロドラマーの猪俣猛氏もゲストで参加し、会場につめかけた2000人以上のファンを魅了した。

2300曲以上のレパートリーの広さを誇る神戸市消防音楽隊。



甲子園の行進曲の編曲でお馴染みの辻井市太郎氏



ユーモラスなおしゃべりで会場を沸かす作曲家岩井直博氏



この迫力／ファンを魅了するプロの技の牙。猪俣猛氏。



エトランゼの輪郭 14

西村 功

1923 / 大阪に生まれる 1948 / 帝美（現武蔵野美大）卒 1950 / 二紀展初入選 1956 / 二紀会委員となる 1966 / 第9回安井賞受賞 1970、'72 / 渡欧 1974～'75 / 渡欧 1979 / 菊華賞受賞 1982 / 画集発刊

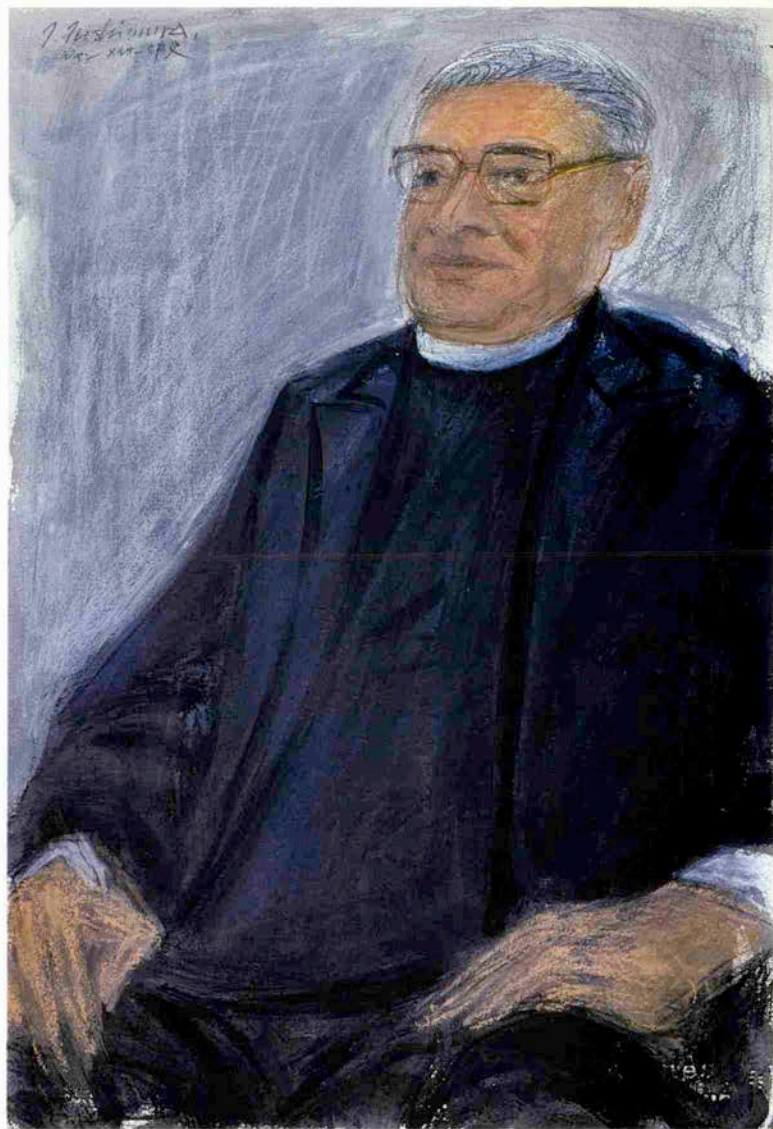
フランス料理とワイン

ジャン・メルオー神父は温厚でユーモアがあり、とても素敵なパリジャンです。そうえ、神戸ではつとに有名な美食家（グルメ）でいらつしやるとのこと。ワインにも大変詳しく、まさしくフランスの雰囲気を感じました。

以前、パリで暮らしていたとき家族とマレー地区にあるエスカルゴ専門の店で食事をしたことがあります。それ以来、すっかりエスカルゴが好物になってしまいました。フランスの各地の美味しいフランス料理店を何軒か訪れましたが、さほど有名でない店でも必ずといって良い程、日本人が料理の修業に来ているのです。そしてテーブル、椅子、食器、インテリアなどに歴史を感じる古いものが大切に使われていたのが印象に残っています。フランス料理にはやはりワインは欠かせません。フランスで暮らすうちに、下戸の私も、今では白ワインの辛口を好んで飲んでいます。今秋9月にパリで個展を開くため、2か月程パリで過ごす予定ですが、再び本場の料理とワインが味わえるのを心待ちにしています。



モデル / ジャン・メルオーさん(フランス)



「ジャン・メルオー神父」

P10 (色コンテ、水彩)